

令和4年
7月10日執行

参議院栃木県選出議員選挙選挙公報

栃木県選挙管理委員会

あなたの一票で平和と暮らしを守ろう。



日本共産党 岡村けい子

おかむら

1953年8月27日生(68歳)

ロシアのウクライナ侵略のもと、戦争が平和か、いま日本の進路が問われています。急激な物価高騰が暮らしと営業を直撃しています。「平和と憲法を大切にしたい」、「物価高から暮らしを守りたい」というあなたの思いを岡村けい子と日本共産党に託して下さい。ごいっしょに平和と暮らしを守りましょう。

憲法9条いかす平和外交を

日本を戦争に導く「軍事対軍事」の道、9条改憲に反対します。

●戦争する国への大逆行を許しません。

●平和と暮らしを壊す軍事費2倍化に反対します。

●戦争の心配のない東アジアへ

●政治の役割は戦争をおこさせないための外交に知恵と力をつくすこと。憲法9条いかす平和の外交で東アジアと世界の平和をめざします。

物価高騰から生活まもる

●弱肉強食の新自由主義を終わらせ、「やさしく強い経済」にチェンジ！

●消費税を5%に緊急減税

●インボイスは中止

●中小企業、自営業者への支援を強化します。

●工場の農政を転換し、食料自給率を引き上げます。水田活用交付金の削減を中止します。

●「最低賃金を1500円」へ

●大企業の内部留保に課税

●大企業の内部留保への適切な課税で、賃上げとグリーン投資を促進します。

●年金削減ストップ

●学費は半額、給食費ゼロに

●低年金の底上げ、最低保障年金の導入をめざします。

●75歳以上の医療費2倍化を中止、撤回させます。

●原発即時ゼロ

●純国産の再エネ大普及を

●省エネルギーと一体に再生エネルギーを普及します。

●石炭火力から撤退します。

●ジェンダー平等の社会の実現を

●年収240万円もの男女の賃金格差をなくします。

●痴漢・性暴力をなくし、選択的天婦別姓を実現します。

ロシア=共産主義？ まったくの誤解です

旧ソ連もロシアも共産主義・社会主義とは無縁です。旧ソ連のチェコスロバキアやアフガニスタンへの侵略を「社会主義とは無縁」ときびしく批判するなど、旧ソ連の時代からロシアの覇権主義に真っ向から対決してきたのが日本共産党です。

岡村けい子略歴 ●県立宇都宮中央女子高、県立保育専門学校卒。●佐野市議(6期22年) ●現在、党県常任委員、南部地区委員長。

自由と平和。まっすぐつらぬく。比例代表は日本共産党とお書きください



あなたの気づきが日本を救う!

参政党とは、「仲間内の利益を優先する既存の政党政治では、私たちの祖先が守ってきたかけがえのない日本がダメになってしまう」という危機感を持った有志が集まり、ゼロからつくった政治団体です。特定の支援団体も、資金源もありません。同じ思いをもった普通の国民が集まり、知恵やお金を出し合い、自分たちで党運営を行っています。

3つの重点政策

1 子供の教育

学力(テストの点数)より 学習力(自ら考え自ら学ぶ力)の高い日本人の育成。

2 食と健康、環境保全

化学的な物質に依存しない食と医療の実現と、それを支える循環型の環境の追求。

3 国のまもり

日本の舵取りに外国勢力が関与できない体制づくり。

こどもの未来、実現するアイデア教育!

プロフィール

おおくまひろさと/1970年生。沖縄県出身。高校卒業後、イスラエル・ギリシャ留学を経て帰国。Webデザイナーとして200社以上のサイト制作を手がける。大人のアイデアキャンプ®「店舗デザインスケッチ (HXprototype Program)」主催。デザイン思考を子供たちにも体験できる「アイデアキャンプ®」を実施。延人数1000人を越し、フィリピン・ボホール島でも展開し成功した。創造型アイデア教育のトップランナー。

参政党

2枚目の投票用紙の「全国比例」には、「参政党比例候補者名」か

お書きください。

略称: 参政



参政党 公認 ひろさと

一九七〇年生 二月二六日 五二歳 (昭和45年)

公認



大久保ゆみ



日本維新の会

昭和52年2月24日 45歳

大久保ゆみ

大久保ゆみ5つの重点政策

- 1 子育て中のお母さんや高齢者が孤独にならない安心した地域作り世代間交流の推奨。
- 2 地域みんなで作る防災・みんなが安心して住める地域作り国作り。
- 3 教育問題(教育無償化・給食費無償化)ヤングケアラー問題に取り組めます。議員報酬をカットして教育費に充てます。
- 4 マスクの着用による心肺機能の低下体力低下問題 糖尿病の増加問題医療費負担を減らすために軽運動の推奨
- 5 地方経済を活性化させる新農地開拓、多様なツーリズムを推奨し新たな雇用を生み出します。

プロフィール

小中高を日光で過ごす。その後上京しTV番組体操指導にて全国を回る。妊娠中に大学院にて児童心理学を専攻する。行政からの委託を受け社団法人を設立、現在大学病院などで医師と連携し運動指導監修を行っている。

成長。改革。

